

事業の概要

令和5年度版
(2023年度版)

秦野市伊勢原市環境衛生組合

目 次

総 括	ページ
○ 組合の沿革	1
1 組合の概要	1
2 組合の今日までの経緯	2
○ 管内人口及び世帯数	6
○ 組合の行政機構図	7
○ 施設の配置図	8
○ 令和5年度組合会計当初予算	10
○ 地域に開かれた施設へ	12
○ 地産地消の取り組み	12
施設の概要	
○ ごみ処理施設	13
1 はだのクリーンセンター	13
2 伊勢原清掃工場	17
(1) 90t/日焼却施設	17
(2) 粗大ごみ処理施設	21
3 栗原一般廃棄物最終処分場	25
○ 火葬施設（秦野斎場）	29
事業の実績	
○ ごみ処理	35
1 可燃ごみ	35
2 不燃・粗大ごみ	37
3 ごみ処理経費の推移	38
4 はだのクリーンセンター各種測定結果	39
5 伊勢原清掃工場各種測定結果	40
6 栗原一般廃棄物最終処分場排水測定結果	41
○ 火葬	42
1 秦野斎場	42
2 斎場経費の推移	43
3 斎場使用料	44
規 約 等	
○ 秦野市伊勢原市環境衛生組合格約	45
○ 地方自治法（抄）	46

総括

組 合 の 沿 革

1 組合の概要

- (1) 名 称 秦野市伊勢原市環境衛生組合
- (2) 構成団体 秦野市及び伊勢原市
- (3) 設立年月日 昭和36年5月20日（神奈川県指令地第530号）
【現名称変更 昭和50年4月15日（神奈川県指令地第4号）】
- (4) 組合機構
- ア 行政機関 組合長（秦野市長）、副組合長（伊勢原市長）、
会計管理者（秦野市会計管理者）
- イ 議決機関 議員10人（秦野市議会選出6人・伊勢原市議会選出4人）
- ウ 監査機関 委員 2人（識見を有する者1人・組合議会議員選出1人）
- (5) 所在地
- ア 組合事務所
〒257-0031 神奈川県秦野市曾屋4624番地 TEL0463-82-2500
- イ はだのクリーンセンター（ごみ処理施設）
〒257-0031 神奈川県秦野市曾屋4624番地 TEL0463-82-2502
- ウ 伊勢原清掃工場（ごみ処理施設）
〒259-1103 神奈川県伊勢原市三ノ宮1918番地 TEL0463-95-1711
- エ 秦野斎場（火葬施設）
〒257-0031 神奈川県秦野市曾屋1006番地 TEL0463-81-2052
- オ 栗原一般廃棄物最終処分場（埋立処分場）
〒259-1103 神奈川県伊勢原市三ノ宮2854番地 TEL0463-95-1523
- (6) 組合の業務
ごみの終末処理施設及び葬祭施設の設置及び管理に関する事務
- (7) 組合経費の支弁方法
組合の経費は、組合事業により生ずる収入及びその他の収入をもってこれに充て、なお不足するときは、次の割合により関係市に分賦する。
- ア 人口割 5割・・・前年12月31日現在の住民基本台帳人口
- イ 事業量割 5割・・・前年中に組合施設（ごみ・火葬）を利用した事業量

2 組合の今日までの経緯

年 月	今日までの経緯
昭和36年 5月 (1961年)	秦野市外二町清掃処理組合設立（秦野市、西秦野町、伊勢原町が「し尿及びじん芥」の共同処理） 昭和36年4月28日に伊勢原町、昭和36年5月1日に秦野市及び西秦野町の各議会において、「し尿及びじん芥」を共同処理する提案がされ、それぞれ同日可決、昭和36年5月6日組合設立を知事に申請、昭和36年5月20日許可される。
昭和37年 (1962年)	
昭和38年 2月 (1963年)	秦野市伊勢原町清掃組合に名称変更（秦野市、西秦野町の合併） 秦野市と西秦野町の合併に伴い、組合の名称及び議員の定数を改めると同時に、組合経費の支弁方法を明確にするため、昭和38年2月14日組合規約変更を知事に申請、昭和38年2月26日許可される。 （改正前） 関係市町毎の人口並びにし尿及びじん芥の処理量を基準として、各関係市町に分賦する。 （改正後） 1 人口割 5割 2 し尿及びじん芥処理量割 5割
6月	秦野衛生センター ごみ処理施設竣工（30 t / 日） [昭和46年10月休止⇒平成元年10月廃止届⇒平成3年5月解体]
8月	秦野衛生センター し尿処理施設竣工（72kℓ / 日） [昭和46年10月休止⇒平成元年10月廃止届⇒平成3年5月解体]
昭和39年 (1964年)	
昭和40年 (1965年)	
昭和41年10月 (1966年)	組合事務所の位置変更 昭和41年10月15日規約変更を知事に申請、昭和41年10月29日許可される。 （改正前） 秦野市曾屋2240番地 （改正後） 秦野市曾屋4624番地
昭和42年 (1967年)	
昭和43年 (1968年)	
昭和44年12月 (1969年)	伊勢原清掃工場 ごみ処理施設（20 t / 日） [昭和51年7月休止→昭和58年12月廃止届→昭和59年3月解体]
昭和45年 (1970年)	
昭和46年 3月 (1971年)	秦野市伊勢原市清掃組合に名称変更 昭和46年3月1日伊勢原市制施行に伴い名称変更について、昭和46年3月20日規約変更を知事に申請、昭和46年3月27日許可される。
10月	伊勢原清掃工場 ごみ処理施設（40 t / 日） [昭和51年7月休止⇒昭和58年12月廃止届⇒昭和59年3月解体]
昭和47年 1月 (1972年)	秦野衛生センター し尿処理施設竣工（100kℓ / 日） [平成元年10月休止⇒平成4年2月廃止届⇒平成15年7月解体]
2月	伊勢原清掃工場 粗大ごみ処理施設竣工（破砕機10 t / 5h、圧縮機12 t / 5h）
4月	粗大ごみ処理業務委託開始
昭和48年 (1973年)	
昭和49年 (1974年)	

年 月	今日までの経緯
昭和50年 4月 (1975年)	秦野市伊勢原市環境衛生組合に名称変更 (「火葬場施設の設置及び管理」の共同処理を追加) 秦野市での火葬場建設計画に際して、昭和49年1月14日伊勢原市長からの申し入れを受け、本組合において火葬場施設の設置及び管理に関する業務を共同処理することとし、支弁の方法のうち「し尿及びじん荼処理量割5割」を「事業量割5割」に変更すると同時に組合名称を変更するため、昭和50年4月2日規約変更を知事に申請、昭和50年4月15日許可される。
昭和51年 6月 (1976年)	伊勢原清掃工場 ごみ処理施設竣工 (180 t /日、破砕機50 t) [平成24年11月休止⇒平成26年5月廃止届]
8月	秦野斎場 火葬場竣工 (火葬炉3炉、待合室3室) 昭和50年度から昭和51年度までの2か年事業
昭和52年 (1977年)	
昭和53年 3月 (1978年)	秦野斎場 火葬場施設を葬祭施設に変更 火葬場に加え、霊きゅう自動車の設置及び管理に関する業務を共同処理するため、火葬場施設を葬祭施設に改めるよう、昭和53年3月31日規約変更を知事に申請、同日許可される。
6月	秦野斎場 霊きゅう自動車 (バス型) 運行開始
昭和54年12月 (1979年)	伊勢原清掃工場 粗大ごみ処理施設竣工 (併用施設30 t /5h)
昭和55年 1月 (1980年)	秦野衛生センター し尿処理施設竣工 (改造・受入貯留設備の前処理及び貯留槽の増設) [平成4年2月廃止届⇒平成15年7月解体]
昭和56年 (1981年)	
昭和57年 4月 (1982年)	伊勢原清掃工場 ごみ処理施設竣工 (排ガス処理施設)
昭和58年 3月 (1983年)	秦野衛生センター 脱離液送水管敷設 (下水道管)
4月	秦野衛生センター 脱離液下水道投入開始
10月	栃窪一般廃棄物最終処分場竣工 (容量58,900m ³)
昭和59年 (1984年)	
昭和60年 2月 (1985年)	秦野衛生センター し尿処理施設竣工 昭和57年度から昭和59年度までの3か年事業 (更新72kl/日、新設：高度処理施設172kl/日) [平成21年3月搬入終了⇒同年9月「し尿」の共同処理が終了⇒同年10月廃止届⇒平成25年5月以降、秦野市及び伊勢原市と旧事務所棟使用協定締結]
10月	伊勢原清掃工場 ごみ処理施設竣工 (90 t /日、破砕機15 t)
昭和61年10月 (1986年)	秦野斎場管理業務委託開始
昭和62年 3月 (1987年)	伊勢原清掃工場 汚泥乾燥施設竣工 (10 t /日)
昭和63年 3月 (1988年)	伊勢原清掃工場 粗大ごみ処理施設竣工 (改造 受入貯留槽のピット[400m ³]・クレーン等)
平成元年 3月 (昭和64年) (1989年)	栃窪一般廃棄物最終処分場 改良工事竣工 (容量15,900m ³ 増) (埋立面積12,100m ² 、容量74,800m ³)
平成 2年 (1990年)	

年 月	今日までの経緯																									
平成 3年 7月 (1991年)	秦野市がペットボトル分別収集開始 ペットボトル圧縮稼働開始																									
平成 4年 2月 (1992年)	秦野衛生センター し尿処理施設竣工 (更新100kℓ/日) 平成元年度から平成3年度までの3か年事業 平成21年3月搬入終了⇒同年 9月「し尿」の共同処理が終了⇒同年10月廃止届⇒平成22年9月解体完了]																									
平成 5年 3月 (1993年)	栃窪一般廃棄物最終処分場 埋立終了 栗原一般廃棄物最終処分場(第一期)建設工事竣工 (面積4,700㎡、容量25,500㎥)																									
10月	秦野斎場火葬炉増設工事竣工 (火葬炉2炉増設)																									
平成 6年 (1994年)	伊勢原清掃工場 180t/日焼却施設 改造工事竣工 (ロータリードライヤーからストーカへの改造)																									
平成 7年 7月 (1995年)	伊勢原清掃工場 180t/日焼却施設 爆発事故 (以後、事故発生日の7月6日を「安全衛生の日」に)																									
8月	<p>組合議会議員定数の変更 事業量の増大、両市の事務量、現状の組合経費負担割合などを勘案し、伊勢原市議会選出議員の定数を1人増員し、組合議会議員の定数を10人とするため、平成7年7月27日規約変更を知事に申請、平成7年8月25日許可される。</p> <p>議員定数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>秦 野 市</th> <th>西秦野町</th> <th>伊勢原町</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>昭和 36 年 5 月</td> <td>6 人</td> <td>2 人</td> <td>3 人</td> <td>11 人</td> </tr> <tr> <td>昭和38年2月改正</td> <td>6 人</td> <td>—</td> <td>3 人</td> <td>9 人</td> </tr> <tr> <th></th> <th colspan="2">秦 野 市</th> <th>伊勢原市</th> <th>合 計</th> </tr> <tr> <td>平成7年8月改正</td> <td colspan="2">6 人</td> <td>4 人</td> <td>10 人</td> </tr> </tbody> </table>		秦 野 市	西秦野町	伊勢原町	合 計	昭和 36 年 5 月	6 人	2 人	3 人	11 人	昭和38年2月改正	6 人	—	3 人	9 人		秦 野 市		伊勢原市	合 計	平成7年8月改正	6 人		4 人	10 人
	秦 野 市	西秦野町	伊勢原町	合 計																						
昭和 36 年 5 月	6 人	2 人	3 人	11 人																						
昭和38年2月改正	6 人	—	3 人	9 人																						
	秦 野 市		伊勢原市	合 計																						
平成7年8月改正	6 人		4 人	10 人																						
平成 8年 6月 (1996年)	秦野斎場霊きゅう車運行停止 (Nox規制法、総量規制法による)																									
平成 9年 (1997年)																										
平成10年 3月 (1998年)	秦野斎場増築棟改修工事 (待合室2室増設) 竣工																									
平成11年 3月 (1999年)	栗原一般廃棄物最終処分場(第二期)建設工事竣工 (面積12,060㎡、容量107,000㎥) ※平成20年1月変更届分 (容量42,500㎥) (全体面積16,760㎡、全体容量175,000㎥)																									
平成12年 (2000年)																										
平成13年 3月 (2001年)	伊勢原清掃工場90 t/日焼却施設 ダイオキシン類削減対策竣工 (排ガス高度処理及び灰固形化施設整備 (電気集じん機をバグフィルターに改造等))																									
平成14年 (2002年)																										
平成15年 3月 (2003年)	伊勢原清掃工場 180 t/日焼却施設 ダイオキシン類削減対策竣工 (排ガス高度処理及び灰固形化施設整備 (電気集じん機をバグフィルターに改造等))																									
平成16年 (2004年)																										
平成17年 2月 (2005年)	秦野斎場煙突耐震補強工事竣工																									
平成18年 (2006年)																										

年 月	今日までの経緯
平成19年 1月 (2007年)	秦野斎場アスベスト材除去工事竣工
3月	伊勢原清掃工場 180 t /日 (建物補強工事) 竣工 (耐震壁の設置、窓開口部の塞ぎ等)
4月	収入役の廃止及び会計管理者の設置等を実施 地方自治法の改正に伴い、収入役を廃止し、会計管理者を設置するため及び吏員を職員に改めるため、平成19年3月20日規約変更を知事に申請、平成19年4月2日許可される。
12月	栗原一般廃棄物最終処分場増設完了 (全体面積16,760㎡、埋立容量175,000㎥)
平成20年 3月 (2008年)	秦野斎場待合室歩廊改修工事竣工 (待合棟歩廊部のロビー化、空調、照明設備増設)
平成21年 9月 (2009年)	し尿処理業務を秦野、伊勢原各市で実施することに伴い、「し尿」の共同処理が終了 平成21年9月30日規約変更を知事に申請、同日許可される。
平成22年 1月 (2010年)	はだのクリーンセンター建設工事 200 t /日焼却施設 平成21年度から平成24年度まで4か年事業 建設期間 平成22年2月から平成25年1月まで
11月	秦野衛生センター 施設解体竣工 (100 k ℓ/日)
平成23年 (2011年)	
平成24年11月 (2012年)	伊勢原清掃工場180 t /日焼却施設稼働停止 (はだのクリーンセンター試験運転開始)
平成25年 1月 (2013年)	はだのクリーンセンター 200 t /日焼却施設竣工 (平成25年1月31日本格稼働) はだのクリーンセンター包括運營業務委託開始 (3年間)
平成26年 (2014年)	
平成27年 (2015年)	
平成28年 4月 (2016年)	はだのクリーンセンター長期包括運營業務委託開始 (12年間)
10月	秦野斎場増築改修工事 (建築工事、電気設備工事、機械設備工事は、平成28年度から平成30年度までの3か年事業、火葬炉設備工事は、平成28年度から平成29年度までの2か年事業) に着手
平成29年 (2017年)	
平成30年 4月 (2018年)	秦野斎場増築棟供用開始 (火葬炉7炉、待合室4室、告別室4室、収骨室4室) 旧火葬炉棟解体及び旧待合棟改修工事着手
平成31年 4月 (令和元年) (2019年)	秦野斎場改修棟供用開始 (待合室4室、多目的室)
令和 2年 1月 (2020年)	「冬のクリセンフェスタwith富士見の湯」開催
8月	「はだの・いせはらクリセンチャンネル」開設
令和 3年 4月 (2021年)	秦野斎場に指定管理者制度を導入 (5年間)
令和 4年 (2022年)	

管内人口及び世帯数

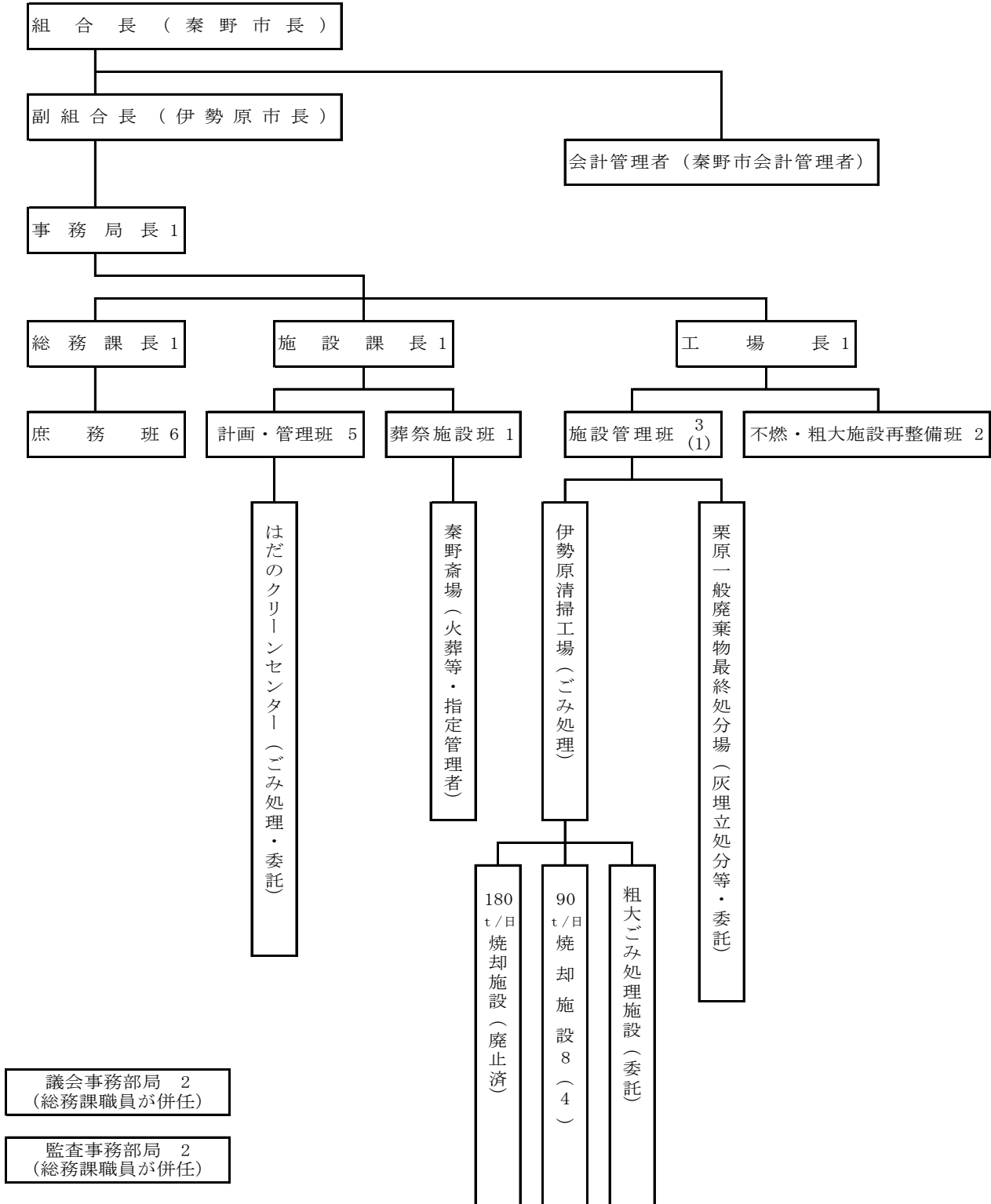
市別	区分	人 口	世 帯 数
秦 野 市		161,279 人	72,359 世帯
伊 勢 原 市		101,473 人	46,770 世帯
合 計		262,752 人	119,129 世帯

(令和5年4月1日現在の推計人口)

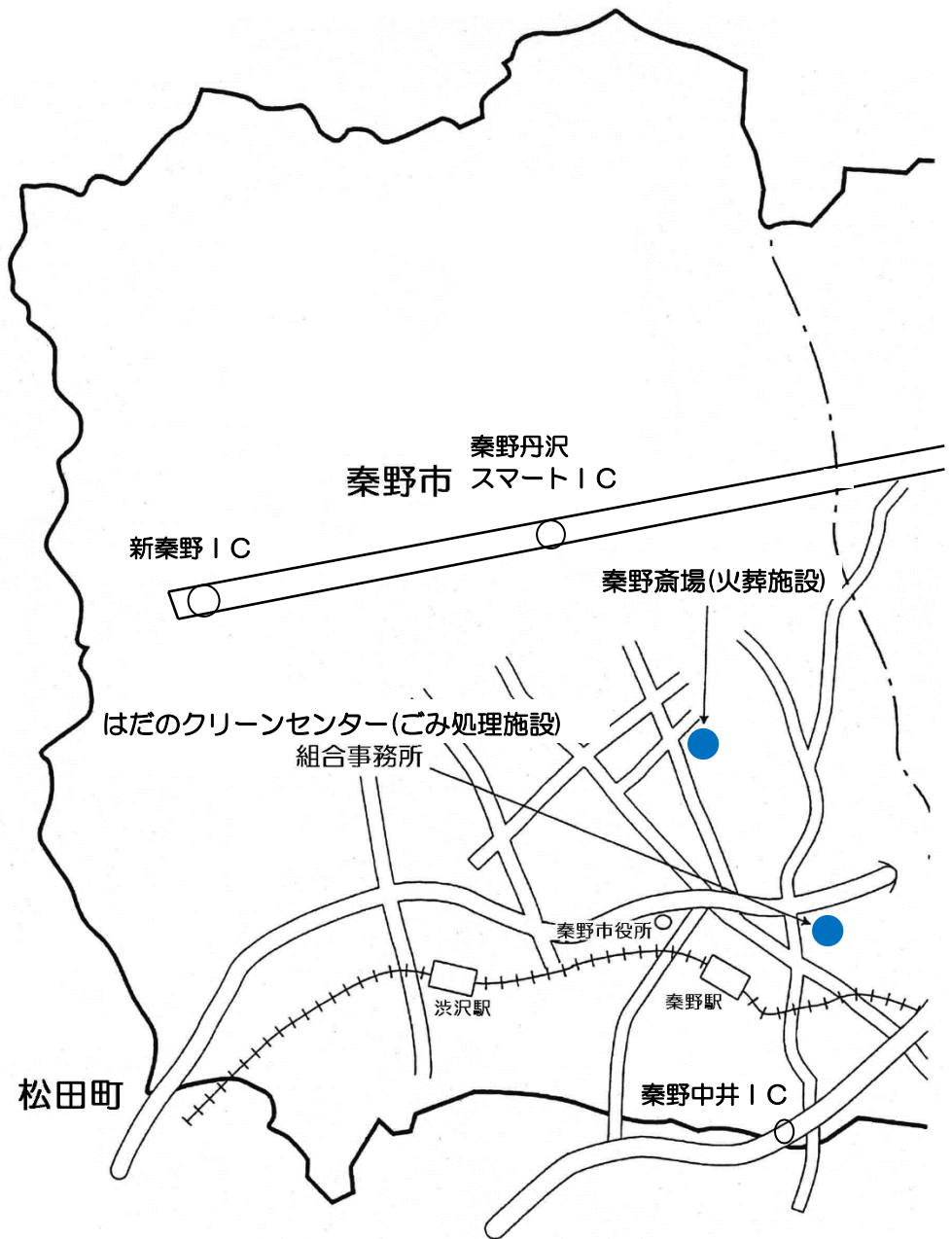
組合の行政機構図(合計29人)

※数値は、令和5年4月1日現在の実人数

() は、うち再任用職員数



施設の配置図





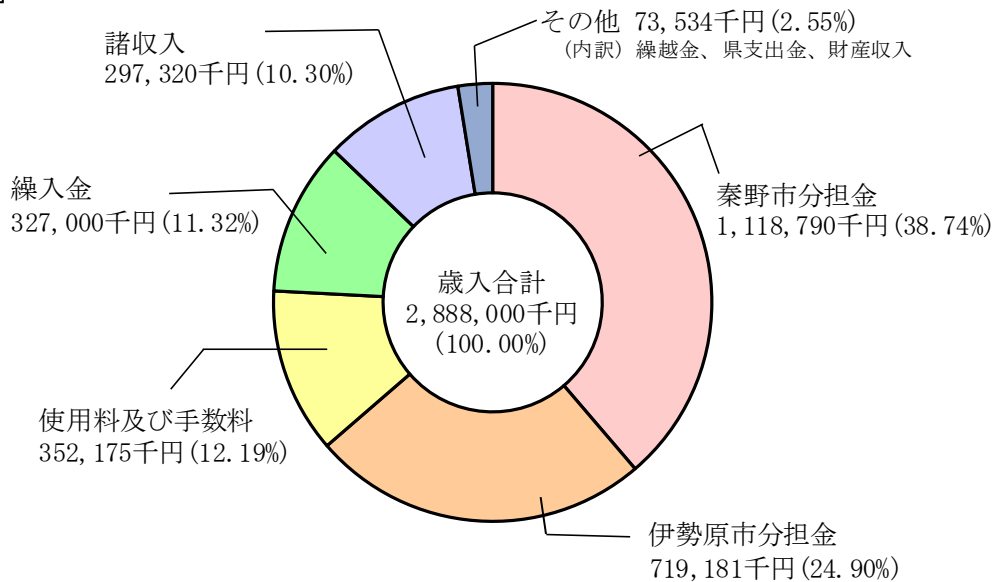
厚木市



令和5年度組合会計当初予算

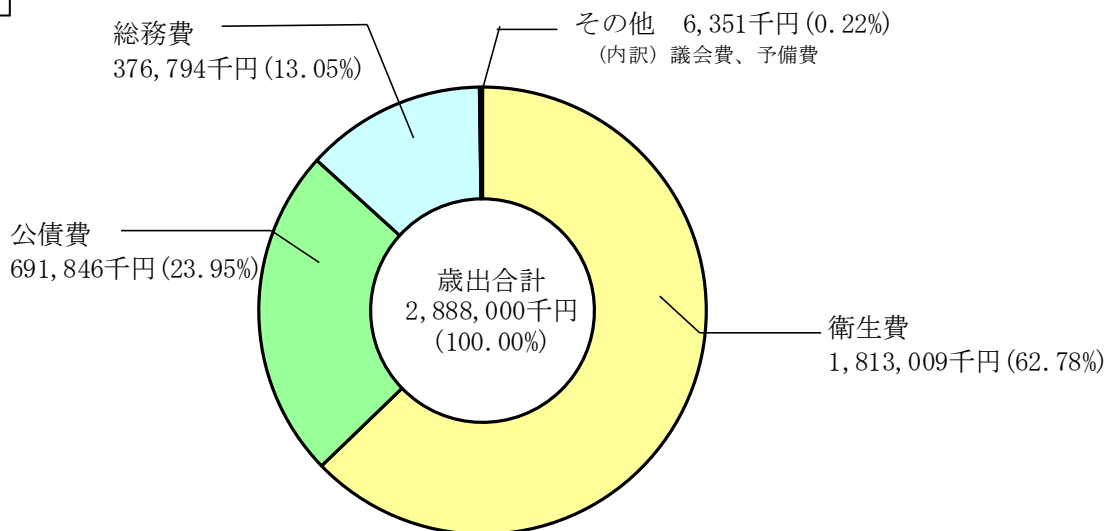
令和5年度当初予算は28億8,800万円で、前年度比9,100万円、約3.1パーセントの減となりました。

歳入



両市からの分担金は、前年度比約7.2パーセントの減となりました。その主な理由は、歳入予算の県支出金などが増額したこと、歳出予算の衛生費が減額したことなどによるものです。

歳出



歳出予算では、ごみの焼却や焼却灰等の処理、斎場の運営管理などの衛生費が全体の約62.8パーセントを占めています。

◎ 令和5年度組合会計当初予算（前年度比較）

（歳入）

（単位：千円）

款	令和5年度	令和4年度	比較増減	伸率(%)	構成比(%)	
					令和5年度	令和4年度
1 分担金及び負担金 （秦野市） （伊勢原市）	1,837,971 (1,118,790) (719,181)	1,980,378 (1,205,506) (774,872)	△ 142,407 (△ 86,716) (△ 55,691)	△ 7.19 (△ 7.19) (△ 7.19)	63.64 (38.74) (24.90)	66.48 (40.47) (26.01)
2 使用料及び手数料	352,175	372,753	△ 20,578	△ 5.52	12.19	12.51
3 県支出金	33,519	8,635	24,884	288.18	1.16	0.29
4 財産収入	15	15	0	0.00	0.00	0.00
5 繰入金	327,000	310,528	16,472	5.30	11.32	10.43
6 繰越金	40,000	40,000	0	0.00	1.39	1.34
7 諸収入	297,320	266,691	30,629	11.48	10.30	8.95
歳入合計	2,888,000	2,979,000	△ 91,000	△ 3.05	100.00	100.00

（歳出）

（単位：千円）

款	令和5年度	令和4年度	比較増減	伸率(%)	構成比(%)	
					令和5年度	令和4年度
1 議会費	3,351	3,251	100	3.08	0.12	0.11
2 総務費	376,794	341,473	35,321	10.34	13.05	11.46
3 衛生費	1,813,009	1,939,418	△ 126,409	△ 6.52	62.78	65.10
4 公債費	691,846	691,858	△ 12	0.00	23.95	23.23
5 予備費	3,000	3,000	0	0.00	0.10	0.10
歳出合計	2,888,000	2,979,000	△ 91,000	△ 3.05	100.00	100.00

◎ 公有財産の状況（令和5年3月31日時点） ※ 千円未満は、四捨五入しています。

行政財産（土地）	62,591.85㎡	
行政財産（建物）	25,413.90㎡	
基金	施設整備基金	27,069千円
	減債基金	121,502千円
	職員退職給与準備基金	2,576千円
	合計	151,147千円

◎ 組合債の現在高（令和5年3月31日時点） ※ 千円未満は、四捨五入しています。

ごみ処理施設整備関係	2,365,367千円
斎場施設整備関係	1,289,968千円
合計	3,655,335千円

地域に開かれた施設へ

はだのクリーンセンターでは、地域に開かれた施設として、様々なイベントを実施しています。イベントを通して、ごみ処理などに関心をお持ちいただき、地域の皆さまに親しまれるような施設を心掛けています。

施設見学会

夏休み親子見学会などの施設見学会を通して地域の皆さまにごみ処理の仕組みを学んでいただいています。



サツマイモ 苗植え・収穫

すえひろこども園の園児と一緒に楽しい雰囲気の中、サツマイモの苗植えと収穫を行っています。

地産地消の取り組み

秦野斎場では、秦野・伊勢原産の木材を活用しています。秦野産の木材は東京2020オリンピック・パラリンピックにおける選手村に、伊勢原産の木材は伊勢原市内の小学校へ学習机として寄贈されるなど様々な場面で活用される両市の名産品の一つです。

秦野産木材

秦野市周辺の山々で育った杉材などを屋内ではエントランスホールの天井及び壁のルーバー、各階のロビー並びに待合室等の床フローリング等に使用し、さらに屋外ではバルコニー手すりなどに使用しています。



組子細工備品

秦野市の魅力ある商品、サービス、観光資源などをPRすることを目的とした「はだのブランド」に認定され、秦野産の木材を用いて製作された組子細工を、待合室入口の欄間や照明カバー、スタンド型照明、木格子つい立に採用しています。



日向石のモニュメント

木材だけでなく、伊勢原市日向で採取した日向石を使用したモニュメントを場内の中庭や植栽帯に配置しました。



伊勢原産木材のベンチ

伊勢原市内の山々で育てた木材を使用して伊勢原市森林組合が製作したベンチをエントランスホール前や喫煙室に採用しています。